

初期臨床研修における よくある質問Q & A



国立病院機構千葉医療センター

初期臨床研修におけるよくある質問を今いる研修医に回答してもらいました。

- ・実際に研修してみてよかったこと

→研修医のレベルに合わせて手技を任せてくれる。病院が綺麗。先生に聞きやすい。コメディカルの方の講義もあり教育熱心。ローテーションを変更しやすい。

- ・研修医の忙しさ、研修医と上級医やコメディカルの方の雰囲気、マッチング対策について

→雑用はあまり任されない。科による。自分のやりたいように研修させてもらえる。上級医の雰囲気は優しい。マッチング対策は、筆記は国試レベル。面接は会話のキャッチボールを重視。

- ・研修医の雰囲気

→人数が丁度いい。後期研修でこの病院を選ぶ人もいます！！出身大学はさまざまですが仲がいいです。

- ・研修医の基本的なスケジュール

→回診－検査、処置、手術、カルテ記載－昼食－午前と同じ－回診－終了（16：30から18：00程度）

- ・当直について

→月に3~4回程度、副直として入る。2次救急の当番日は2年目の研修医と1年目研修医が入る。
2次救急明けは基本的には帰れます。2次救急以外の日は診療科によって様々です。

- ・なぜこの病院を選んだのか

→色々な診療科があり、バランスの良い研修が出来ると思ったから。柔軟な研修ができそうだったから。

- ・初期研修後の進路

→7割が千葉大学の医局へ入局。その他私大に入局する方もいます。進路も様々で昨年の進路は消化器外科、泌尿器科、耳鼻科、麻酔科、消化器内科、脳神経内科。
当院の内科・外科専門研修プログラムで病院に残る先生もいます。

- ・手技をどの程度させてもらえるのか

→CV、採血、胸腔穿刺、腹部エコー、内視鏡検査、腹腔穿刺、心臓カテーテル検査のサポート、縫合、呼吸器内科脂肪だと胸腔ドレナージ。外科志望だと胃切(胃全摘)、ラパコレの執刀。脳神経外科志望だと慢性硬膜下血腫の執刀など。積極的に希望することで経験できる手技は増えます。
また、研修医の習熟状況に応じて任されることも多くなります。

- ・今年度の研修医の出身大学

→秋田、千葉、滋賀、岩手、筑波、北里、金沢、福島県立等全国各地からきています。千葉出身者でない人もいます。

- ・初期研修プログラムの特色

→2年次の自由選択期間が長い。院外研修も含めればほぼ全科回ることができる。院外研修でも経験豊富な

指導医の元、成長する場面が多く与えてもらえる。

- ・給与や休暇について

→基本給1年目34万、2年目35万。当直は1年目1万/回、2年目2万/回
年次休暇20日、リフレッシュ休暇3日、比較的休みを取りやすい。

- ・研修医の環境

→研修医室があり、1人1デスク。電カルも2台あるので、勉強しやすいのと、症例について同期や先輩に相談しやすい。宿舎や家賃補助は無し。駐車場利用料が安い。